

お知らせ

◆遠藤周作の新刊本・3冊

『現代誘惑論 遠藤周作初期エッセイ』

7月25日刊行

『ころび切支丹 遠藤周作初期エッセイ』

9月20日刊行予定

『人間について (仮) 遠藤周作初期エッセイ』

10月20日刊行予定

各々定価 (予価) 1,980円

いずれも河出書房新社

恋愛論を中心に、究極の「愛」の形にせまる『現代誘惑論』、『沈黙』発表前の貴重な講演録を併録した『ころび切支丹』、自由や孤独、苦しみの見解より、真の人間の姿を追究する『人間について (仮)』など。生誕100年を記念し、数々の単行本初収録作品を刊行。解説は今井真理。

お問合せは、河出書房新社編集部、太田美穂まで。mota@kawade.co.jp

☎03・3404・8611

☎03・3404・1377

◆軽井沢高原文庫

「高原文庫」第三十八号

夏季特別展——遠藤周作『沈黙』から『深い河』まで 定価 1,000円

執筆者 (目次順) 黒井千次/山折哲雄/青来一/加藤宗哉/ヴァン・C.ゲッセル/今井真理/山根道公/篠田正浩/遠藤龍之介/マーク・ウィリアムズ
申込先 軽井沢高原文庫 (長野県北佐久郡軽井沢町長倉202の3)

☎0267・45・1175

※「遠藤周作展」は、10月1日 (日) まで開催。

◆遠藤周作の関連本

『ぐうたら神父の山日誌』 伊藤淳著

女子パウロ会 6月刊行

定価 1,500円+税

学生時代、遠藤周作ファンであった著者は、遠藤率いる劇団「樹座」に加わるやがて神父となり、遠藤生誕90年の記念ミサでは司式の一人をつとめるが、その会場で加賀乙彦氏は「樹座にいた神父なんて、信じられないなあ」と仰天した。『ぐうたら』を自称する神父の、イエスと歩んだ17名山の体験記。

発行元 女子パウロ会/東京都港区赤坂

8の12の42 ☎03・3479・3943

◆生誕100年記念「遠藤周作展」(仮)

町田市民文学館ことばらんど

開催時期 2023年10月21日(土) ~

12月24日(日)

休館日 毎週月曜、11/9、12/14

観覧料 一般600円、大学・高校・中学生300円、小学生以下無料

※人間の弱さに寄り添う眼差しや、多様な理解など、遠藤文学の特質に光をあて、「生きづらさ」を感じる現代の人々に、「生きる」ことの意味を提示します。弱者の観点をつらぬいた作家のメッセージが今、新鮮です。

※イベントとして、山崎ナオコロー氏、夏川草介氏などによる講演会・対談、映画「深い河」の上映も予定しています。

問合せ先 町田市民文学館ことばらんど (町田市原町田4の16の17) 神林/杉本

☎042・739・3420

◆生誕百年・記念講座

遠藤周作の魅力

——人を感動させる物語とは何か

講師 加藤宗哉 (作家)

日時 10月14日(土) 15時30分~17時

会場 よみうりカルチャー荻窪

JR、東京メトロ「荻窪」駅下車。ステーションビル「ルミネ」6階。

受講料 3,850円 (他に設備維持費385円、教材費33円)

申込先 よみうりカルチャー荻窪

☎03・3392・8891

☎03・3392・8884

(東京都杉並区上荻1の7の1)

※電話受付...:月曜から土曜 (10時~20時)、日曜 (10時~16時)。

内容 『沈黙』『深い河』、さらには狐狸庵エッセイもまじえて、遠藤文学の核心とその魅力を探ります。必要な資料はコピーして配布します。

◆第17回 遠藤周作学会・全国大会

日時 9月9日(土)

13時 開会の辞

13時05分~13時25分 総会

13時50分~14時50分 研究発表

15時~17時30分 シンポジウム

17時40分~17時50分 閉会の辞 (オンライン聴講あり)

会場 昭和女子大学 8号館6階

オーロラホール

詳細は学会HPをご覧ください。

◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。

年会費は3,000円。入会金はありません。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「新年会」「周作忌」

✿編集後記✿

▼四年ぶりに「原点の旅」が開催されたのは、7月22日のことだった。軽井沢は遠藤先生ゆかりの地である。その軽井沢高原文庫で「生誕100年記念展」を見懇親会ができたのはうれしい。さて、来年は皆でどこに行かれるでしょうか。

▼音楽座ミュージカル「泣かないで」は、リニューアルされて更にパワーアップした感があった。主人公ミツの歌う「会えない日々」には、何度聞いても泣かされる。

▼遠藤先生の戯曲『善人たち』が劇団民藝のKEIKOBA公演「善人たち」として、息を吹き返したようだった。本当の「善」とは何なのか。そもそも絶対的な「善」というものなど、あるのか。考えさせられる作品だった。是非、本公演をしていただきたいと思います。(亀)

「周作クラブ」第92号

2023年8月発行

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 亀岡 園子

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

Eメール Shusaku_club@yahoo.co.jp